

①さいたま市図書館の一年

1 電子書籍の本格導入と地域資料のデジタル化

平成 28 年 3 月に 300 タイトルでスタートした電子書籍サービスは、平成 28 年 9 月に新たに 1,000 タイトルの電子書籍を追加しました。また、図書館ホームページを改修し、紙媒体資料と電子書籍が同時に検索できる機能、予約が用意できた際のメール連絡機能、「わたしの本棚」に読書記録やお気に入り資料の記録ができる機能を追加したことで、紙媒体と同様のサービス環境を整えました。

平成 28 年度末には、購入した電子書籍は 3,300 タイトル、地域資料のデジタル化作業で公開した電子書籍は 64 タイトルとなりました。

2 子ども読書活動推進への取り組み

学級文庫用図書の出借は、従来の市立中学校 24 校に加え、平成 28 年度から新たに市立小学校 20 校を対象とし、学級文庫用の図書 8,000 冊の出借を 120 クラスに行いました。また、図書館の体験事業として、移動図書館車を市立小学校に乗り入れる利用体験や、夏休み期間に中央図書館で中学生、高校生を対象とする図書館ボランティア体験プログラム「さいたま・ライブラリー・サポーターズ」を開催しました。

子どもの不読率については、読書調査の方法を教育研究所の実施する学習状況調査と連携して実施することとし、調査対象を抽出から全児童生徒へ変更し、調査時期も 9 月から 1 月に切り替えて実施しました。結果として、前年度と比較して、小学生は 1.8% から 4.1% に、中学生は 1.3% から 10.7% にと、前年度までの抽出調査と異なる子どもの読書活動の実態が明らかになり、更なる取り組みの必要性を認識することができました。

3 大宮図書館の移転準備としての市民との協働

平成 31 年 5 月に大宮区役所新庁舎に移転を計画している大宮図書館の準備として、市民局所管の「さいたま市大宮区役所新庁舎基本計画」の策定に協力しました。

平成 28 年 7 月から 9 月にかけて、市民との協働を図るために開催した「市民ワークショップ」(全 4 回)に事務局として参加し、市民委員の皆様と様々な意見交換をし、基本設計に反映しました。

また、10 月・11 月(全 3 回)開催の「大宮区役所新庁舎整備に関する市民説明会」では、参加者から多くの貴重なご意見をいただきました。

4 図書館施設リフレッシュ工事

平成 28 年 3 月に「さいたま市図書館施設リフレッシュ計画」を策定しました。この計画は、「さいたま市公共施設マネジメント計画」と連携し、図書館施設の老朽化対策を進めるとともに、バリアフリー化や省エネルギー化を図る施設改修を実施し、長期的に安全・安心に利用できる施設整備をすることを目的としたものです。

この計画に基づき、平成 28 年度には屋上防水や空調改修などのため、春野図書館と岩槻東部図書館の中規模修繕を行いました。